

平成 26 年度愛媛県計画に関する 事後評価

令和 4 年 11 月
愛媛県

3. 事業の実施状況

平成26年度愛媛県計画に規定した事業について、令和3年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	3 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	26年度 【No. 19】 地域医療支援センター運営事業	【総事業費】 224,244千円
事業の対象となる区域	全県事業	
事業の実施主体	県	
事業の期間	平成26年4月1日～令和4年3月31日	
背景にある医療 ・介護ニーズ	医師の地域間・診療科間の偏在や医師の高齢化により、地域医療に必要な医師が不足しており、医師の確保及び若手医師の県内定着が急務となっている。	
	アウトカム指標 人口10万人当たり医療施設従事者数の増加 （[H30] 269.2人→[R2] 275.9人）	
事業の内容 （当初計画）	地域医療支援センターの運営により、若手医師や医学生のキャリア形成支援をはじめ、医師不足病院への支援などを行う。 また、愛媛大学等の医学部地域枠学生への奨学金貸与により、医師確保に努めるとともに、県内外の医学生のネットワークづくりによる卒後Uターンの促進などを図る。 アウトカム指標：アウトカム指標：人口10万人あたり医療施設従事医師数の増加（医師・歯科医師・薬剤師調査）（H26：254.3人→H28：259.3人（2%増））	
アウトプット指標 （当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・医師派遣・あっせん数（目標：40人） ・キャリア形成プログラムの作成数（目標：3プログラム） ・地域枠卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合（目標：50%） 	
アウトプット指標 （達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・医師派遣・あっせん数（R3実績：69人） ・キャリア形成プログラムの作成数（R3実績：26プログラム） ・地域枠卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合（R3実績：100%） 	
事業の有効性 ・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：人口10万人当たり医療施設従事者数の増加 →確認できた（[R2] 276.7人）	
	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>今後、地域枠医学生は約200名程度を養成することになっており、医師不足・医師の偏在が著しい本県にとっては有効性が高い事業となっている。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>地域医療支援センターには、専任医師2名、専従職員4名を置くこととしており、現場起点でキャリアプログラムの作成、医師不足地域への医師派遣等が検討でき効率的に事業実施ができた。</p>	
その他		